

平成28年度 自己評価結果報告

福志会松任 あさひこども園

1. 法人基本理念 及び 運営方針

「健・心・共・和」 健やかに、心豊かに、共に、楽しく健康で安心して生活できる環境のもと、園児一人一人を大切に健やかに育て、保護者に信頼され地域に愛される園を目指す。

乳幼児期は人間形成の基礎を作る大切な時期である。その大切な時期を家庭的な雰囲気の中で安心して生活できるよう、保育の環境を整え、一人一人の子どもの育ちにふさわしい教育・保育を行う。さらに、家庭や地域社会と連携をとり、次世代を生きる子ども達を心豊かに育てることが、大切な役割であり使命であるとする。

2. 教育・保育の基本方針

① いきいきとした明るい子

② 思いやりのある子

③ 自分で考え行動する子

④ 感性豊かな子

3. 重点的に取り組んだ目標・評価

今年度より、幼保連携型認定こども園に移行したことを踏まえ、子ども一人一人の生命の保持を図り、安定した情緒の下で自己を十分に発揮し、自ら学ぶ力が獲得できるような教育・保育を目指し、指導計画を作成した。

4. 評価項目の達成 及び 取組状況

評価項目	取り組み状況
認定こども園として、保育園との違いを保護者に理解してもらう。	重要事項説明書の見直しを図り、分かりやすさに努めた。開園前に保護者に説明会を開催して理解を求めた。当日、出席できなかった保護者には、後日、一人一人に説明をし、入園時に契約書を個々と交わした。
子どもの好奇心を育み、思考力、判断力を高めながら、豊かな心を育てる教育・保育を計画し、実践する。	教育・保育の計画、実践を通して、教育・保育の充実を図ってきた。異年齢児の交流活動は、昨年度より充実してきたが、活動の時間配分や遊びの提供等について課題があり、十分ではないと感じている。今後も計画的な取り組みが必要である。

園児一人一人の発達に合わせた支援を考え、共に育つ心の教育の充実を考える。	園児一人一人の課題を職員間で共有し、園全体で受け入れ体制、支援の在り方について話し合いを行ってきた。また、専門機関との連携を図るよう努めた。
職員の資質向上の為の研修・研究を充実させ、幼児理解や保育の在り方について考える。	今年度は、園内研修等で、子どもの運動面の発達や運動を促す環境について、研修・研究を行ってきた。園内研修の効果も得られ、保護者の理解も得ている。
健康・安全に関する教育・保育について共通理解し、災害時の園児の安全の確保、保護者対応など、地域の特性を考えながら安全教育を進める。	防災計画の地震・津波時の対策が不十分な所があった為、市の防災課と話し合い、計画の見直しをした。園内での安全指導、避難訓練などは充実しており、子ども達には浸透していると感じる。しかし、災害時の受け渡し訓練が出来ておらず、今後、保護者会との話し合いの中で計画していきたい。また、送迎時のチャイルドシートの着用や安全確認など保護者に啓発していきたい。

5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全職員が課題の重要性を理解し、積極的に研究・研修を行いながら、養護・教育面で子ども一人一人の成長を支えることが出来たため、概ね目標は達成できたと考える。

6. 今後取り組むべき課題

教育・保育内容の充実	教育・保育要領の改訂に向け、育成すべき資質・能力や主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）についての理解を深め、教育・保育計画に取り入れていく。 教育・保育計画の内容の検討、保育環境の充実など、全職員で研究に取り組み、職員間の連携を深め、より良い教育・保育を行うことができるようにする。 また、子どもの発達についての理解を深めるため、専門機関との連携を図っていく。
職員間の共通理解・連携を深める	職員間の連携を深めるため、各年齢・各担当の会議を充実させ、情報交換を丁寧に行い、お互いの職務と全園児に対する理解を深め、支援の充実を図る。
危機管理	園生活で起こりうる事故について、全職員で把握、共通理解し、災害時には落ち着いて協力しながら命を守る行動ができる園体制を作る。 衛生面では、流行性の病気など園内感染を防ぐよう、園内環境を整備する。又、保育室・トイレ・ホールなど園舎の安全点検もしっかり行い、不備がある箇所は速やかに修繕し、安全な環境を維持するよう努める。
子育て支援	園児の保護者を対象に育児相談、地域の未就園児の親子に対しては施設を開放し、遊び場の提供や育児相談を行うなどの子育て支援を行う。また、適切な支援ができるように子育て支援についての研修の充実を図る。

小学校との連携	小学校への円滑な接続に向け、特に５歳児クラスの小学校への接続に関する具体的な計画が必要になってくる。地域の小学校と連携しながら、アプローチカリキュラムを作成する方向で進めて行きたい。
---------	---

7. 学校関係者の評価

年度末に、全保護者に３２項目のアンケートに答えて頂き、その後、保護者会で結果について話し合っていた。

アンケート結果から保護者の満足度は高く、子ども達を安心して預けていることがわかる。引き続き、保護者が安心して預けられる園を目指して欲しい。防犯面では、玄関の内側と外側、園舎の裏側に防犯カメラを設置されるということなので、今後も、子ども達の安全を最優先にして取り組んでほしい。また、アンケートの結果や意見・要望を踏まえ、引き続き、園の子ども達や地域の子どもの為に改善できるところは改善するよう努めてほしい。

8. 財務状況

会計処理について、適切に処理されている旨、公認会計士より報告を受ける。

社会福祉法人 福志会松任の監事による監査も終えている。